

基準地番号	提出先	所属分科会名	業者名	伊藤アンドカンパニー
杉並(都) - 4	東京都	区部第8	氏名	不動産鑑定士 伊藤 彩絵子

鑑定評価額	83,400,000 円	1㎡当たりの価格	772,000 円 / ㎡
-------	--------------	----------	---------------

1 基本的事項

(1)価格時点	令和 7 年 7 月 1 日	(4)鑑定評価日	令和 7 年 7 月 3 日	(6)路線価	[ 令和 7 年1月]	590,000 円 / m <sup>2</sup>
(2)実地調査日	令和 7 年 6 月 20 日	(5)価格の種類	正常価格		路線価又は倍率	倍
					倍率種別	
(3)鑑定評価の条件	更地としての鑑定評価					

2 鑑定評価額の決定の理由の要旨

(1) 基準地	所在及び地番並びに「住居表示」等		杉並区永福一丁目3 8 7 番7「永福1 - 3 7 - 1 7」				地積 (㎡)	108	法令上の規制等							
	形状	敷地の利用の現況	周辺の土地の利用の状況		接面道路の状況	供給処理施設状況	主要な交通施設との接近の状況			1 低専 (50,100) 準防高度(1種) (その他)						
	1 : 1.5	住宅 W 2	一般住宅、共同住宅等が建ち並ぶ住宅地域		北東4 m 私道	水道、ガス、下水	永福町360 m			(60,100)						
(2) 近隣地域	範囲		東 20 m、西 10 m、南 0 m、北 60 m			標準的使用	低層住宅地									
	標準的画地の形状等		間口 約 9 m、奥行 約 12.5 m、			規模 110 m程度、			形状 長方形							
	地域的特性		特記 特になし		街 基準方位北4 m私道	交通 永福町駅 南東方360 m	法令 1 低専 (60,100) 準防高度(1種)									
	事項				路	施設	規制									
	地域要因の将来予測		最寄り駅への接近性及び都心への交通アクセスに恵まれた住宅地域であり、格別の変動要因はなく、当分の間は現状を維持すると予測する。地価水準は上昇傾向で推移すると予測する。													
(3) 最有効使用の判定		低層住宅地					(4) 対象基準地の個別的要因	方位 +1.0								
(5) 鑑定評価の手法の適用		取引事例比較法	比準価格 775,000 円 / ㎡													
		収益還元法	収益価格 383,000 円 / ㎡													
		原価法	積算価格 / 円 / ㎡													
		開発法	開発法による価格 / 円 / ㎡													
(6) 市場の特性		同一需給圏は、杉並区及びその周辺区の都心に通勤可能な利便性を有する住宅地域である。地域の品等及び現在の市場から判断して、基準地に係る典型的な市場参加者は自己利用目的の個人である。熟成した住宅地であることから需給関係は比較的安定しており、需要の中心となる価格帯は、土地は7千万～9千万円台程度、新築の戸建物件は8千万～1億円程度である。														
(7) 試算価格の調整・検証及び鑑定評価額の決定の理由		比準価格は実際の取引事例価格を基礎とした実証的な価格である。収益価格は基準地における賃貸経営の投資採算性を示す価格である。基準地の典型的な市場参加者である個人は、投資採算性よりも居住の快適性を重視し、類似不動産の取引市場の状況・取引価格等の市場性を指標として購入の意思決定を行う傾向が強いことから、上記比準価格を重視し、収益価格を参酌のうえ、指定基準地及び地価公示標準地との検討も踏まえ、鑑定評価額を上記のとおり決定した。														
(8) 公規価示価格と格しをた	代表標準地 標準地		時点修正	標準化補正	地域要因の比較	個別的要因の比較	対象基準地の規準価格 (円 / ㎡)	内 訳	標 街路 0.0	地 街路 +2.0						
	標準地番号 杉並 - 4								準 交通 0.0	域 交通 -3.0						
	公示価格 740,000 円 / ㎡		[103.7] 100	100 [104.0]	100 [ 97.0]	100 100	768,000		化 環境 0.0	要 環境 -2.0						
(9) 指か定ら基の準検地討	指定基準地番号 杉並(都) - 14		時点修正	標準化補正	地域要因の比較	個別的要因の比較	対象基準地の比準価格 (円 / ㎡)	内 訳	標 街路 0.0	地 街路 0.0						
									準 交通 0.0	域 交通 -6.0						
									化 環境 0.0	要 環境 -17.0						
(10) 対年ら象標の基準検準価討地格の等前か	- 1 対象基準地の検討 継続 新規 前年標準価格 718,000 円 / ㎡		価格変動形成要因の	変 動 状 況	〔 一 般 的 要 因 〕	雇用・所得環境の改善等による景気回復基調が続いているが、金融資本市場の変動等の影響に注意。杉並区の人口及び世帯数は増加傾向。										
	- 2 基準地が共通地点(代表標準地等と同一地点)である場合の検討										〔 地 域 要 因 〕	最寄り駅への接近性等利便性を有する住宅地域として熟成しており、格別の変動要因はない。				
	代表標準地 標準地 標準地番号 - 公示価格 円 / ㎡															
変動率	年間 +7.5 %	半年間 %														